



受賞した橋村さん(写真左から1番目)と有川さん(同3番目)

1月21日から2月20にかけて、合志市の熊本県農業公園カントリーパークで開催された「第37回JA植木まつり」。20日の閉会式では、開催中、展示・接客・商品を来場者に総合的に評価してもらった「第37回JA植木まつり」の表彰が行われ、庭園部門で上町の橋村梅晴さんが見事優勝に輝きました。

同まつりへの出品は、庭木、ハウス、庭園、特産の4部門に分かれており、庭園部門へは11人から19コマの出品がありました。

また、期間中の販売高や品質などをもとに出品者の表彰もあり、庭園部門の最優秀賞を福岡の有川貴博さんが、優秀賞を橋村さんがそれぞれ受賞し、橋村さんは二重の喜びとなりました。

優れた庭園に表彰状

JA植木まつりで橋村さんと有川さん

渋い顔で「にが〜い」

町立第3保育所(津森)でお茶会

町立第3保育所で2月28日、肥後古流田中教室によるお茶会が行われました。3月3日のひな祭りにあわせて、年に一度町内の幼稚園、保育所を訪問し、お茶の作法を説明されています。子どもたちは、珍しいお茶の道具に興味津々の様子で見つめていました。点てられたお茶をこぼさないように運び、作法の手ほどきを受けました。お菓子とお茶をたどたどしい手つきで出し合い、抹茶を一口飲むと「これ、にが〜い」「お菓子と一緒に飲むと大丈夫」と渋い顔で話していました。最後にはお茶の先生にお礼のお点前を披露しました。



抹茶を飲んで渋い表情の子どもたち



表彰状を手にする馬場さん

地道な相談活動に表彰状

県身体障がい者相談員の馬場孝さん

長年にわたり熊本県身体障がい者相談員として活動続ける馬場孝さん(市ノ後団地)が3月16日、熊本県社会福祉功労者の表彰を受けました。

馬場さんは約15年間、県身体障がい者相談員として地道に活動。町身体障害者福祉協会に加入している身体障がい者の各家庭を訪問し、年間約50～60件もの更生相談を積極的にこなしています。

住永町長から表彰状が伝達されると馬場さんは、「長く継続的な活動が評価されてうれしい。今後も会員だけでなく地域のためになるよう輪を広げて行きたい」と話しました。